

## RE 諏訪湖株式会社は、

環境、社会、経済の三つの側面で持続可能な取り組みを積極的に推進しています。以下はその主要な取り組みに関する概要です。

- 
1. 活動量の最適化
  2. エネルギー消費効率の最適化
  3. 自然資源の保全活動
  4. 地域・官民と連携による環境対策の啓蒙活動
- 

(1) 事業活動における温暖化対策：

RE 諏訪湖株式会社は、2030年までに事務所のCO2排出量を毎年1.0%削減する目標を設定しています。2023年度のデータでは、前年度比で3.4%の削減を実現しましたが、基準年度比では104.32%の増加となっています。これは、活動量の増加によるものですが、灯油暖房から電気への転換(エアコンの増設)より、前年度よりCO2排出量は減少しました。また、通勤手段として自転車利用などを奨励することで、活動量の効率改善を図っています。

(2) 再生可能エネルギーによる地域経済循環構造の構築：

弊社は、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーを活用して、地域経済循環構造を構築する計画を推進しています。これには、発電所やボイラー施設の計画策定、運転保守が含まれます。また、行政に対する脱炭素施策の支援や民間企業へのSBT等の取得コンサルティング、再生可能エネルギーへの転換に関するコンサルティングを行っています。

(3) 自然資源保全：

- ① 森林資源保全：木質バイオマス資源活用を通して山の整備・保全に関わる取組をしています。木質バイオマスが流通できる仕組みとして森林インフラ整備の計画や木材資源量調査に関わっています。
- ② 水資源保全：天竜川水系保全に取り組んでいます。環境省の取組である「もりさとかわうみプロジェクト」に賛同し、自然環境に配慮した商品の活用と関連企業への推奨をしています。天竜川の最上流である諏訪の水系保全は、海の保全につながる重要な活動です。

(4) 脱炭素への啓蒙活動：

脱炭素社会の実現に向け、RE 諏訪湖株式会社は年1回のセミナー開催とシンポジウム参加を目指しています。2023年には、脱炭素経営に関する4回の研修を実施し、環境・エネルギー会議でパネリストとして参加しています。

---

これらの取り組みを通じて、RE 諏訪湖株式会社は信州の豊かな自然資源を活用し、地域循環型社会の構築に貢献しています。環境保全に関する研修、講演、社員教育を実施し、地域社会の持続可能な発展をサポートしています。

## ◆具体的な取組み

1. エネルギー効率の改善と再生可能エネルギーの積極的な活用：
  - ▶ 省エネモードの活用：コンピューターやプリンターなどの機器を省エネモード、エアコンのサーモ設定の適正化を行っています。
  - ▶ 活動場所の集約化：活動の集約化によって、エネルギー消費の効率化を図っています（なるべく部屋やスペースを共有し、単位面積一人当たりのエネルギー消費の効率を向上させる）
  - ▶ 高効率機器への全面的な切り替え：事務所内の照明を LED に変更し、消費電力を削減しています。
2. 持続可能な運営管理：
  - ▶ 高効率・省エネルギー機器の導入：最新の省エネルギー技術を持つ機器（エアコン、ヒーター、照明、OA 機器）を使用しています。
3. 再生可能エネルギーによる地域経済循環構造の構築：
  - ▶ 木質バイオマスなどの再生可能エネルギーを活用して、地域経済循環構造を構築する計画を推進し、2023 年、他県で完全NON-FIT型木材・製造業生産副産物ハイブリッド燃料による脱炭素電源開発事業への参画いたしました。県内でも同様な取組を目指しています。
  - ▶ 一般社団法人諏訪脱炭素イノベーション協会の会員であり、木質バイオマス利用を通して森林保全などに関わっています。同協会と協調し今期環境イベントを開催予定です。
  - ▶ グリーン製品の活用と取扱：環境に配慮した製品やサービスを優先的に活用し、製品の取り扱いを推奨しています。日常生活からの環境意識を持って頂きたい、化学合成洗剤でなく自然由来の界面活性剤を用いた洗剤を販売しています。
4. 環境意識向上：
  - ▶ 環境教育プログラムの実施：定期的な環境講座やワークショップを開催し、社員、関連企業、地域の環境意識を高めています。
  - ▶ 社内の 3R：日常から出るペットボトルなどの廃棄物削減を目指します。書類のデジタル化とペーパーレスの情報共有（ネット上のクラウド活用）を行っています。
5. 地域社会との協力と環境保全の啓蒙活動：
  - ▶ 地域コミュニティとの協働：地域の環境保全活動やイベントに参加し、地域企業・団体との連携を推進しています。
6. 環境イニシアティブへの取組推奨：
  - ▶ 脱炭素、ゼロカーボンを目指す企業に対する以下の取得をサポートし民間の脱炭素取組の提案を行っています。

環境イニシアティブ	
CDP	CDP (Carbon Disclosure Project) : 企業の温室効果ガス排出量や、気候変動課題に対応するための組織体制や戦略、実際の取り組みといった環境課題関連の内容が、選択式と記述回答式の設問が合わさって構成された質問書を通じ開示される制度。
SBT	SBT (Science Based Targets) : 企業が設定する温室効果ガス排出量削減目標が科学的に正当化されているかどうかを認証する制度。
RE100	RE100 : 企業が 100%再生可能エネルギーを導入することを目指す国際的な制度で企業が再生可能エネルギーの導入目標を設定し、その達成状況を報告。

C F P	CFP (Carbon Footprint) : 製品やサービスの温室効果ガス排出量を算出することで、環境負荷を評価する指標を開示する制度。
L C A	LCA (Life Cycle Assessment) : 製品やサービスのライフサイクル全体にわたる環境負荷を評価する制度。

7. 官民連携 :

- ▶ 行政への積極的な情報提供、提案し、官民連携による脱炭素推進を行っています。

---

これらの取り組みを通じて、RE 諏訪湖株式会社は日々の業務、オペレーションにおいて環境への影響を低減に寄与し、持続可能なビジネスモデルの構築に努めてまいります。



RE 諏訪湖株式会社

〒392-0022 長野県諏訪市高島 1-4-17

TEL: 0266-78-6219 | FAX: 0266-78-6258 | E-MAIL: info@re-suwa.com